



2021年11月10日

各位

会社名 三井金属エンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 青木 一彦
(コード番号 1737 東証第二部)
問合せ先 上席執行役員総務本部長 田中 亨
(TEL 03-5610-7832)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関して2024年までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	2,366人	29,187単位	30億円	22.8%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	—	○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、非流通株式の保有者との話し合いとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向けた施策に継続的に取り組んでいくことを通じ、当社株式の魅力を高め、より多くの投資家の皆様に当社株式への投資を検討していただくことによって、上場維持基準への適合を目指して参ります。

(2) 課題と取組み

当社株式の魅力を高めるための最も重要な施策は、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現することにあると考えております。

そのために、当社は、(1)事業基盤の強化、(2)事業競争力の強化、ならびに(3)事業領域の拡大を中長期的に実行していくことが必要であると考えておりますが、そのための個別戦略として、①技術戦略・製品戦略、②市場戦略、③人事戦略、④事業資産戦略、⑤業務効率化戦略、⑥財務戦略、等々を十分に整備し、確実に実現できるよう努力して参ります。それぞれの具体的な戦略については現在検討中であり、決定次第公表いたします。

また、当社株式の魅力を高める観点からは、株主の皆様のご期待に沿う安定的配当を継続して実施することも重要であると考えております。当社は、業績に応じた適正かつ安定的な利益配当を基本としておりますが、技術開発及び設備合理化への投資と財務体質健全化の為に内部留保確保を勘案しつつ、株主の皆様のご期待に沿う安定的配当の継続に引き続き努力して参ります。

さらに、当社株式への投資を投資家の皆様にご検討いただくためには、上記のような当社の取組みについて、より多くの投資家の皆様に知っていただくことが重要であると考えております。そのため、上記のような当社の取組みを投資家の皆様にお伝えするために、web を活用して企業活動のトピックス等を積極的に発信していくことに尽力したいと考えております。

あわせて、非流通株式の保有者との話し合いを通じて、流通株式比率の向上を図って参ります。

以上